

【追加募集用】

選択領域

	講習名	主な受講対象者	開講日	掲載頁
①	【選択】保育現場や教育現場における保護者支援	全教員	7月27日(土)	2
②	【選択】多文化教育入門ー理論と実践ー	小学校・中学校・高等学校教諭	7月27日(土)	2
③	【選択】エントロピー（散らばり指標）を用いた社会科学、自然科学への幅広い応用解析	中学校・高等学校教諭	7月27日(土)	2
④	【選択】外から見た日本の教育の光と影ー各教育段階を区別した検討ー	全教員	7月27日(土)	3
⑤	【選択】A I 時代におけるプライバシーの保護	全教員	8月8日(木)	3
⑥	【選択】英語教育の理論と実践ーリーディング技能を中心としてー	中学校・高校外国語（英語）教諭	8月8日(木)	3
⑦	【選択】いじめを理解する	全教諭・養護教諭	8月8日(木)	4
⑧	【選択】インターネット最新事情：ソーシャルメディアの光と影	全教員	8月8日(木)	4
⑨	【選択】教員と生徒のストレスとその対処	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭	8月8日(木)	4
⑩	【選択】発達が気になる子のステキを伸ばす	全教員	8月9日(金)	5
⑪	【選択】タグラグビーの指導方法	小学校教諭、中学校・高等学校（保健体育）教諭、特別支援学校教諭	8月9日(金)	5
⑫	【選択】学校場面におけるピア・サポート	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭	8月9日(金)	5

★ 選択領域

講習名	【選択】保育現場や教育現場における保護者支援				①
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な対象者	全教員	
開講日	2019年7月27日(土)				
定員	60名	講習料	6,000円		
担当講師	柿原 久仁佳(本学文学部准教授)				
講習内容	<p>現在、子どもが抱える課題は多様化し、保護者への支援の必要性も高まっている。子ども自身の問題、子どもの環境の問題、それらが相互に関連している場合等、様々な課題がある中、どのように支援していけばよいのだろうか。</p> <p>参加者から事例を提供してもらったり、グループワークや演習を取り入れながら、今後の保護者支援の在り方を検討する。</p>				

講習名	【選択】多文化教育入門ー理論と実践ー				②
対象	履修認定職種	教諭	主な対象者	小学校・中学校・高等学校教諭	
開講日	2019年7月27日(土)				
定員	30名	講習料	6,000円		
担当講師	西原 明希(本学社会福祉学部准教授)				
講習内容	<p>社会は多文化化が徐々に進んでおり、これからの児童・生徒は、文化的背景の異なる人の立場や多様な考え方を理解し、積極的に対話をし、よい関係を築くスキルやマインドセットが求められる。本講義は、前半に多文化教育の理論学習を行い、後半は受講者がグループに分かれ、多文化教育の授業案を実際に作り、互いにデモ授業を行う、ワークショップ型の講義となる。小学校から高校までの全教科の教諭を対象としている。</p>				

講習名	【選択】エントロピー(散らばり指標)を用いた社会科学、自然科学への幅広い応用解析				③
対象	履修認定職種	教諭	主な対象者	中学校・高等学校教諭	
開講日	2019年7月27日(土)				
定員	70名	講習料	6,000円		
担当講師	矢吹 哲夫(本学経済学部教授)				
講習内容	<p>様々な多様性、不平等性評価の物差しとして幅広い分野で活用されている“エントロピー”の基礎概念を解説する。その応用例として取り上げる社会の「不平等指数」であるタイルエントロピーは、高校の「公民科」の中の『政治・経済』、『現代社会』の科目で、また「地形多様性指標」としてのエントロピーは高校地理(科目)で活かされることを想定している。その他分野横断的な「総合的な学習の時間」の中で、生物多様性も含めた幅広い“エントロピー”概念を生徒たちに説明できる場面を想定している。</p>				

講習名	【選択】外から見た日本の教育の光と影ー各教育段階を区別した検討ー				④
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な対象者	全教員	
開講日	2019年7月27日(土)				
定員	20名	講習料	6,000円		
担当講師	ウルリケ ネンシュティール(本学社会福祉学部教授)				
講習内容	日本の学校教育では、各段階で教科内容には限らず中心の教育課題と考えられているのは異なるにもかかわらず、公的方針も外から見たイメージもそれほど違わない。講習では、欧米で広がった日本教育のイメージと、データに基づいた国際比較から伺える実情を紹介する。各受験者の教育領域に関して「内」と「外」の視野を比べて、子供を中心に日本の各学校種の良さと課題を再検討する。				

講習名	【選択】A I 時代におけるプライバシーの保護				⑤
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な対象者	全教員	
開講日	2019年8月8日(木)				
定員	20名	講習料	6,000円		
担当講師	岩本 一郎(本学経済学部教授)				
講習内容	子どもたちの間に携帯端末が普及し、SNSの利用が急速に広まっています。それに伴い、子どもたちが意図せず自己の個人情報や他人のプライバシーを侵害したりするおそれがあります。また、これらの情報をA Iの技術を使って第三者が分析・利用する可能性もあります。学校でも社会科や道徳において情報倫理教育が求められます。本講習ではこのような社会的な要請を踏まえ、A I時代のプライバシー保護について憲法判例を通して考えます。				

講習名	【選択】英語教育の理論と実践ーリーディング技能を中心としてー				⑥
対象	履修認定職種	教諭	主な対象者	中学校・高校外国語(英語)教諭	
開講日	2019年8月8日(木)				
定員	20名	講習料	6,000円		
担当講師	竹村 雅史(本学短期大学部教授)				
講習内容	この講習の目的は、主にリーディング指導の背景にある理論を知ってもらうためのものです。例えば、Skim & Scan Reading, Top-down & Bottom-up Reading, Schema Theory, Extensive Reading(多読)など日々の授業とその領域に関連したスキルや活動等を皆さんと一緒に考えていく講義です。他にもShadowingを応用した活動も予定しています。時間が許せば、新たな4技能入試に関する英語教育の動向についても触れたいと思います。				

講習名	【選択】いじめを理解する				⑦
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭	主な対象者	全教諭・養護教諭	
開講日	2019年8月8日(木)				
定員	20名		講習料	6,000円	
担当講師	牧田 浩一(本学社会福祉学部教授)				
講習内容	<p>スクールカウンセラー制度の発足は、中学生がいじめを受けたことを苦に自殺した事件が契機である。スクールカウンセラー(学校臨床心理士)は、「いじめ」問題をどうとらえ、どのような解決策を示しているのか。また、なぜ、子どもたちの間にいじめが起こるのであるのか。いじめが、不登校などの他の問題として現れることもある。本講習では、臨床心理学の視点から、「いじめ」解決に向け、いじめを理解することを目的とする。</p>				

講習名	【選択】インターネット最新事情：ソーシャルメディアの光と影				⑧
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な対象者	全教員	
開講日	2019年8月8日(木)				
定員	30名		講習料	6,000円	
担当講師	金子 大輔(本学経済学部教授)				
講習内容	<p>近年、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等のソーシャルメディアの利用者が急増している。これらを上手く活用すれば、日常の授業実践に役立つ情報の取得や、普段会う機会のない教育関係者とのコミュニケーションも可能である。その反面、子どもたちにはさまざまな問題が起こっているのも事実である。そこで本講義では、実際にソーシャルメディアを利用しながら、その仕組みを理解するとともに、活用方法や問題点についても議論する。そして、子どもたちの生活や学校・社会に与える影響についても考えていきたい。</p>				

講習名	【選択】教員と生徒のストレスとその対処				⑨
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭	主な対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・ 特別支援学校教諭、養護教諭	
開講日	2019年8月8日(木)				
定員	60名		講習料	6,000円	
担当講師	田辺 毅彦(文学部教授)				
講習内容	<p>現在、学校においても、子どもたちはいじめや不登校を始めとする対人関係問題に悩み、教師も日常業務の増加や教育体制の変化に加え、子どもたちのコミュニケーション形態の変化や保護者との対応に悩んでいる。この授業においては、学校現場の問題をストレスやバーンアウトといった心理学的な視点から取り上げて分析し、その解決策について受講者と共に考えていきたい。</p>				

講習名	【選択】発達が気になる子のステキを伸ばす				⑩
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な対象者	全教員	
開講日	2019年8月9日(金)				
定員	100名	講習料	6,000円		
担当講師	田実 潔(北星学園大学社会福祉学部教授) ※ゲストスピーカー:加藤 潔(国立障害者リハビリテーションセンター)				
講習内容	発達が気になる子ども達、いわゆる発達障害のある児童生徒と学校の先生達はどのように接していけば良いのか。特別支援学校や支援学級だけではなく、通常の学級で支援を受けている発達が気になる子ども達も増えてきました。ちょっと気になる彼らが持っている「ステキ」な一面をどのようにして伸ばしていけば良いのか、学校だけでなく家庭や地域でできるわかりやすいコミュニケーションの方法や支援の方法を学びます。				

講習名	【選択】タグラグビーの指導方法				⑪
対象	履修認定職種	教諭	主な対象者	小学校教諭、中学校・高等学校(保健体育)教諭、特別支援学校教諭	
開講日	2019年8月9日(金)				
定員	30名	講習料	6,000円		
担当講師	蓑内 豊(本学文学部教授) マシュー コッター(本学短期大学部専任講師)				
講習内容	タグラグビーは、ラグビーからタックルなどの接触プレーをなくした球技です。その特徴は、楕円球を抱えて自由に走り回ることができることです。男女や年齢に関係なく、すぐに誰でも一緒に楽しむことができ、運動量も豊富です。身体接触がないので、グラウンドでも体育館でも実施可能です。小学校の学習指導要領解説、および、中学校の学習指導要領解説でも、球技の一つとしてタグラグビーが紹介されています。				

講習名	【選択】学校場面におけるピア・サポート				⑫
対象	履修認定職種	教諭 養護教諭	主な対象者	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭	
開講日	2019年8月9日(金)				
定員	60名	講習料	6,000円		
担当講師	永井 暁行(本学文学部助教)				
講習内容	近年、医療・福祉などの分野だけでなく教育分野においてもピア・サポート(peer support)が注目されています。peerとは、仲間であり、supportは支援ですから、ピア・サポートは仲間による支援と言えます。教育場面では特に児童や生徒同士の相互支援を指します。児童・生徒同士の支え合いや学び合いに関する理論や実践を紹介し、教育場面のピア・サポートについて理解を深め、考えることを目標とします。				